

Weekly Report 2022-2023



創 立 1969年4月14日
認 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広報委員会

会長：遠藤直樹 / 幹事：鈴木雅博 / 会長エレクト：磯崎裕騎 / 副幹事：吉岡哲哉 / S.A.A：吉本委子

今週のプログラム	第 2543 回	1 月 27 日
誕生日卓話：辻隆志会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2542 回	1 月 20 日
卓話：「高松グリーンロータリークラブ設立の経緯について」石川会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松



遠藤会長挨拶

原ガバナー補佐よりIMの案内

加藤会員より

卓話: 石川会員

遠藤会長挨拶

・皆様こんにちは。本日より通常例会が始まります。私の任期も後半年です。引き続きご協力をお願いいたします。

先週の新年会にて、今年の干支はうさぎ年で飛躍の年にと申しあげましたが、コロナなどの影響もあるかと思われませんが、ここ数年の間に退会者が多くなっております。昨年12月にも3名が退会されとても寂しいかぎりです。ロータリークラブに興味がありそうな人を同伴で開催します、五木会もここ数年開かれておらず、また落ち着いたなら早く開催して少しでも多くの新会員に入ってもらって、7月からの55周年の磯崎年度に繋げて行けたら良いと思いますので、皆様にも是非とも増員にご協力をお願いいたします。

先程、親睦委員会の方からご紹介がございました、丸亀東RCからガバナー補佐の原将嘉様、随行の片岡浩昌様が、3月18日に開催されますインターシティーミーティングのご案内でお越しいただいております。皆様、時間を取って頂いてなるべく多くで参加出来たらと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

鈴木幹事報告

- ・ロータリーの友1月号がきております。
- ・ロータリーの友電子版のパスワードが1/15より変更になりました。事務局までお問い合わせください。
- ・丸亀東RCよりIMのご案内がありました。多くの皆様の参加をお願いします。
- ・坂出・坂出東RC共同のラジオ番組がはじまりました。
- ・おもてなし遍路ウォークの案内がありました。
- ・香川いのちの電話通信のご案内がありました。
- ・第5回高松国際ピアノコンクールより招待状がきております。

委員会報告

- ・岩本親睦委員より
新年例会のご出席ご協力ありがとうございました。

メイクアップ

- 1月16日 高松北RC 藤田
- 1月17日 高松東RC 吉岡 低田 近藤

1月27日 今日は何の日	今日生まれの有名人
国旗制定記念日/国際追悼デー/仏壇の日	1978年 雛形あきこ 1935年 小山明子
1219年 源実朝(鎌倉第3代将軍)暗殺される	1966年 三田寛子 1922年 林由郎
1880年 エジソンが白熱電球の特許申請	1960年 清水ミチコ 1832年 ルイス・キャロル
誕生花	ゼラニウム、花言葉は“慰め”
誕生石	琥珀(amber)、宝石言葉は“誰よりもやさしく”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー



ニコニコBOX

IMのご案内をさせて頂いて。丸亀東RC
香川第Ⅱ分区ガバナー補佐 原様

石川監督お疲れ様でした。がんばります。 川口
誕生日お祝いありがとうございました。
すみません早退します。

次年度FSMありがとうございました。 磯崎

新年家族例会、有難うございました。 岩本
遅刻 2件

合計 6 件

本日の合計 19,000 円

2022-2023 年度累計 552,000 円

ビジター

丸亀東RC 香川第Ⅱ分区ガバナー補佐 原 将嘉 様
随行 片岡 浩昌 様

小豆島RC 岡 英一 様

出席報告

出席委員長：大西一正

会員数 /	42 名	出席規準数 /	38 名
出席者数 /	17 名	欠席者数 /	21 名
出席率 /	44.74%	ビジター /	3 名
最終出席率 /	12 月 23 日	64.01% →	70.73%

RI 会長エレクトが 2023-24 年度会長テーマを発表

国際ロータリー会長エレクト ゴードン R. マッキナリー

サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ(スコットランド)の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」

平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去1年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ2021-22年度会長が立ち上げた「女兒のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去1年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年5,000万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません」

メンタルヘルスへの取り組み

人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。

「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」

2023年1月9日

米国フロリダ州オーランド・ロータリー国際協議会

次週のプログラム

第 2544 回

2 月 3 日

客話：NPO 法人交流支援センター 増田卓美様

担当者 プログラム委員会

例会場 J R ホテルクレメント高松